

基本評価シート
様式

(新潟県環境局環境対策課)

ニホンジカ基本評価シート

1. 事業の基本情報

事業名 (※1)	実施計画策定事業		
	指定管理鳥獣捕獲等事業		
	効果的捕獲促進事業 (市町村連携)		
	効果的捕獲促進事業 (技術開発)		
	認定鳥獣捕獲等事業者等の育成		
	ジビエ利用拡大を考慮した狩猟者の育成		
都道府県名	新潟県	担当者部・係名	環境局 環境対策課
担当者名	関田 悠満	担当者連絡先	025-280-5152
捕獲実施事業者	(一社)新潟県猟友会 認定を受けている	予算額 (※2)	33,570,000 円
		予算額の内捕獲に要する経費 (※3)	捕獲事業 : 1,500 千円 市町村連携 : 8,000 千円 (イノシシと合算) 技術開発 : 7,000 千円

- (※1) 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。
 (※2) 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。
 (※3) 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和6年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
捕獲等事業 : 40 頭	54 頭	125.0%
市町村連携事業 : 60 頭	5 頭	8.3%
技術開発事業 : 50 頭	2 頭	4.0%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数 (R4 年度末時点)	特定計画管理目標	目標生息頭数
983~3,961 頭 (95%信用区間) 2,048 頭 (中央値)	農林業被害の軽減。生息数を減少させ分布域を縮小させる。	令和8年度末の推定生息頭数を3,000頭程度
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲 (個体数調整)
117 頭 (R5 年度)	275 頭 (R5 年度)	

○これまでの個体群管理の取組み (都道府県単独事業)

県単独事業なし

2. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>新潟県におけるニホンジカの捕獲数は、平成20年度までは年間数頭であり、生息域も上越地域の一部に限定されていた。しかし、平成21年度から捕獲数が増加し始め、令和2年度には1,192頭と急増し、その生息域も拡大していることが推測される。また近年、長野県や群馬県等の隣接県で、ニホンジカによる深刻な農林業被害が発生していることから、今後本県においても同様の被害が発生することが予測される。</p> <p>階層ベイズ法による個体数推定の結果、平成14年度から平成29年度の期間中、単調に増加しており、その後は横ばいで推移していることが推定された。令和2年度の中央値で4,961頭（95%信用区間：2,041～13,639頭）と推定されており、現行の捕獲圧では個体数が増加し続けることが予測されている。</p> <p>平成27年度から令和3年度に狩猟者から収集した出猟カレンダーの分析結果から、上越地域の中央部、中越地域の南部で捕獲効率及び目撃効率が高く、生息密度が高いと考えられる。また、平成30年10月に実施された糞塊密度調査によると、上越地域の中央部と中越地域の南部で糞塊密度が特に高いメッシュが存在した。2つの異なる調査がともに上越地域の中央部と中越地域の南部にて、生息密度が高いことを示した。こうした県内でも生息密度が高いと考えられる地域の中から、捕獲の実施地点を選定することが、県内の個体数削減への寄与が高く、費用対効果を高める上でも重要である。</p> <p>このような現状から、現在のニホンジカの個体数増加に歯止めをかけ、分布域の拡大を縮小させるためには科学的、計画的な個体数管理を進めていく必要がある。当事業は特に捕獲効率等から生息密度が高いと推定される地域での効率的な捕獲を行い、ニホンジカに対する捕獲圧の強化を図ることを目的とする。</p> <p>さらに、環境省が引き続き尾瀬地区（新潟県域）における捕獲を行い、さらなる捕獲圧の強化を図る。</p>
	<p>【選択欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。 <input checked="" type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日 （うち捕獲作業を行った期間） 令和5年11月9日～令和6年3月3日
実施区域	<p>【①捕獲等事業】 上越地域（上越市、妙高市、糸魚川市） 中越地域（柏崎市、十日町市、長岡市、津南町）</p> <p>【②市町村連携事業】 三条市、加茂市、田上町</p> <p>【③技術開発事業】 十日町市</p>
関係機関との協力	市及び地元狩猟者団体等と捕獲場所や時期等について調整を図った。
事業の捕獲目標	<p>【①捕獲等事業】 （125.0%達成） ＝（54頭 実績値）／（40頭 目標値）</p>

	<p>【②市町村連携事業】 (8.3%達成) = (5頭 実績値) / (60頭 目標値)</p> <p>【③技術開発事業】 (4.0%達成) = (2頭 実績値) / (50頭 目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り <input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟 <input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input checked="" type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>※1：各種猟法の定義は11ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など） <input checked="" type="checkbox"/> 写真（詳細を記載：作業者および捕獲個体が写った遠景の写真と個体の大きさ等が確認できる近景の写真。なお、近景の写真は巻尺等を当てて個体サイズが判別できるようにし、捕獲個体の左側面腹部に赤色の油性ペンキ等で個体番号を記入するとともに、①捕獲日時、②捕獲場所、③メッシュ番号、④捕獲個体番号を記載した看板等を入れて撮影） <input checked="" type="checkbox"/> その他（捕獲日時、場所、性別、齢区分、体重、体長、後足長、角の状態、妊娠の有無等を記録） ※複数チェック可</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。 ※複数チェック可</p>
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。</p> <p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：受託者による麻酔銃等を使用した放獣体制の整備） <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。</p> <p>鳥類の鉛中毒等について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。</p> <p>鉛製銃弾について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。</p>
安全管理の体制	<p>受託者は、業務計画に基づき捕獲従事者への安全教育・訓練を行い、安全管理規定を遵守し安全管理体制を構築した。</p>
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】 捕獲従事者数： 619人 （内訳） 正規雇用者： 619人 期間雇用者：0人 日当制：0人</p>

3. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点*	
【目標達成】	<p>評価：</p> <p>【①捕獲等事業】 目標 40 頭に対し 54 頭捕獲し、達成率は 125.0%だった。目標達成できた要因としては、比較的に生息密度の高い上越地域を中心に実施することで高い捕獲効率で捕獲ができたことが考えられる。</p> <p>【②市町村連携】 目標 60 頭に対し 5 頭捕獲し、達成率は 8.3%だった。目標を大きく下回った要因は、実施地域の生息状況や想定していた捕獲努力量が捕獲目標と乖離していたためと考えられる。</p> <p>【③技術開発】 目標 50 頭に対し 2 頭捕獲し、達成率は 4.0%だった。目標を大きく下回った要因は実施地域の生息状況や想定していた捕獲努力量が捕獲目標と乖離していたこと及び捕獲実施地域における大寒波により、柵や誘因餌が埋まってしまうほどの降雪があり、ニホンジカが想定よりも低標高域へ移動したためと考えられる。</p>
	<p>改善点：</p> <p>【①捕獲等事業】 今後も生息状況調査などによりニホンジカの動向を把握し、生息密度の高い場所で効率的に捕獲を続ける必要がある。</p> <p>【②市町村連携】 実施地域の生息状況や捕獲努力量の見込みに合わせて適切な捕獲目標を設定し、計画的に実施することが必要である。</p> <p>【③技術開発】 実施地域の生息状況や捕獲努力量の見込みに合わせて適切な捕獲目標を設定し、計画的に実施することと、大雪でも一定以上の実績が見込まれるような事業設計が必要である。</p>
【実施期間】	<p>評価：</p> <p>猟は捕獲等事業及び市町村連携事業で 11 月以降の積雪期に捕獲を実施し、わな猟は市町村連携事業で 9 月から 12 月に実施した。</p>
	<p>改善点：</p> <p>特になし。</p>
【実施区域】	<p>評価：</p> <p>捕獲等事業では 6 市町村 13 メッシュ、市町村連携事業では 3 市町 15 メ</p>

	<p>ツシュを対象に事業を実施した。</p> <p>改善点： 市町村連携事業では目標達成に至らなかったため、ニホンジカ分布を把握し、生息拡大地域でも比較的的生息可能性の高い場所で捕獲を行う必要がある。</p>
【捕獲手法】	<p>評価： 【①捕獲等事業】 忍び猟と巻き狩りを実施し、目標達成することができた。捕獲効率は猟法によって大きな差が無く、実施場所の状況に応じて適切な猟法を選択できていると考えられる。 【②市町村連携】 銃猟は忍び猟と巻き狩り、わな猟はくくりわなと箱わなを実施したが、くくりわなのみで捕獲実績があった。 【③技術開発】 大雪に見舞われ、シューティングにあたり準備していた設備が雪に埋もれてしまったものの、2頭の捕獲に至ったことから、ニホンジカがスキー場及びその周辺を利用している様子が確認された。</p> <p>改善点： 【①捕獲等事業】 特になし。 【②市町村連携】 実施区域は生息拡大地域で比較的的生息密度が低いため、生息状況に合わせて適切な猟法を選択して捕獲を行う必要がある。 【③技術開発】 積雪量によりニホンジカの移動が影響を受けるため、できる限りこれを考慮した事業設計が必要である。</p>
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	<p>評価： 捕獲作業は2名以上で実施し安全に配慮した。</p> <p>改善点： 引き続き、安全に配慮した体制を構築する。</p>
【個体処分】	<p>評価： 【①捕獲等事業】 個体処分の方法は自家消費 34 頭、埋没 20 頭で食用としての利用率は 63.0%だった。</p>

	<p>【②市町村連携 ③技術開発】 個体処分の方法全て自家消費だった。</p> <p>改善点： 引き続き、適切な処分を行う。</p>
【環境配慮】	<p>評価： 鉛製銃弾を使用した。 錯誤捕獲は無かった。</p> <p>改善点： 非鉛製銃弾の使用を促す。</p>
【安全管理】	<p>評価： 業務計画、安全管理規定に基づき、事故防止の徹底を図った結果、人身事故等の重大事故は発生しなかった。</p> <p>改善点： 引き続き、安全管理規定の遵守を徹底する。</p>
<p>3. その他の事項に関する評価及び改善点 関係法令を遵守し、適切に事業を実施した。</p>	
<p>4. 全体評価 捕獲事業では目標達成率 125.0%であったが、市町村連携や技術開発事業では目標を大きく下回る実績となった。市町村連携事業は生息拡大地域で比較的に低密度な地域であり高い捕獲効率で捕獲することが難しいため、生息状況や実施場所の環境に合わせて適切に猟法を選択する必要がある。</p>	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

第二期新潟県ニホンジカ管理計画では、管理目標として以下を定めている。

(1) 令和8年度末に推定個体数を3,000頭程度にする (2) 農林業被害の軽減

上記の管理目標の中で、ニホンジカの生息数をこれ以上増加させないことが示されており、生息域の拡大や生息数の増加が確認されている地域で必指定管理鳥獣捕獲等事業を実施することとしている。

本事業の捕獲数は61頭で、令和5年度の総捕獲数643頭の約9%にあたる。全体の捕獲数に占める割合は小さいものの、有害捕獲との役割分担や生息拡大地域での捕獲を実施することで、他の捕獲方法では対応が難しい範囲をカバーし、ニホンジカの生息域拡大の抑制に貢献していると考えられる。さらに、本事業は、効率的な捕獲を実現するための技術開発を担う重要な役割を果たしており、今後も継続して進めていくことが重要である。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input checked="" type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 （体長、体高、メス個体の妊娠の有無及び胎児の数）	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数 [※] <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 （わな稼働日数＝わな基数×稼働日数）	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1： 335 人日

事前調査人日数概数※2： 0 人日

出猟（捕獲作業）人日数：捕獲等事業：262 人日、市町村連携事業：47 人日、技術開発事業
26 人日

※以下、捕獲等事業→「捕獲」、市町村連携事業→「連携」、技術開発事業→「技術」として示す。

項 目	令和 6 年 (事業年度の値)	令和 5 年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	捕獲：262 人日 連携：47 人日 技術：26 人日 全事業：335 人日	捕獲：259 人日 連携：90 人日 全事業：349 人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1: 事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2: 事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1： 726 人日

事前調査人日数概数※2： 0 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 市町村連携事業：726 人日、

項目	令和6年 (事業年度の値)	令和5年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	連携：6,411 基日	連携：6,839 基日 技術開発：1,144 基日 全事業：7,983 基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和6年 (事業年度の値)	令和5年 (事業年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	捕獲：54 頭 連携：0 頭 技術：2 頭 全事業合計：56 頭	捕獲：17 頭 連携：4 頭 全事業合計：21 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	捕獲：104 頭 連携：0 頭 技術：0 頭 全事業合計：104 頭	捕獲：100 頭 連携：39 頭 全事業合計：139 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数／全捕獲数)	捕獲：46.4% (26 頭/56 頭)	捕獲：58.8% (10 頭/17 頭) 連携：50.0% (2 頭/4 頭) 全事業合計：57.1%	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数／全捕獲数)	0% (0 頭/54 頭)	0% (0 頭/21 頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※目撃数には捕獲数も含む。

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

※以下、捕獲等事業及び市町村連携事業の合計を示す。

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※ ¹	CPUE※ ²	SPUE※ ³
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り	36 頭	82 人日	0.218 頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	0.388 頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟	18 頭	82 人日	0.220 頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	0.488 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和6年 (事業年度の値)	令和5年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	5 頭	24 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数／全捕獲数)	20.0% (1 頭/5 頭)	50.0% (12 頭/24 頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数／全捕獲数)	0.00% (0 頭/5 頭)	0.00% (0 頭/24 頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	5 頭	5,103 基日	0.001 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 箱わな	0 頭	355 基日	0.0 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数：296 人時間

(捕獲等事業：244 人時間、連携事業：52 人時間)

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数：39 個体

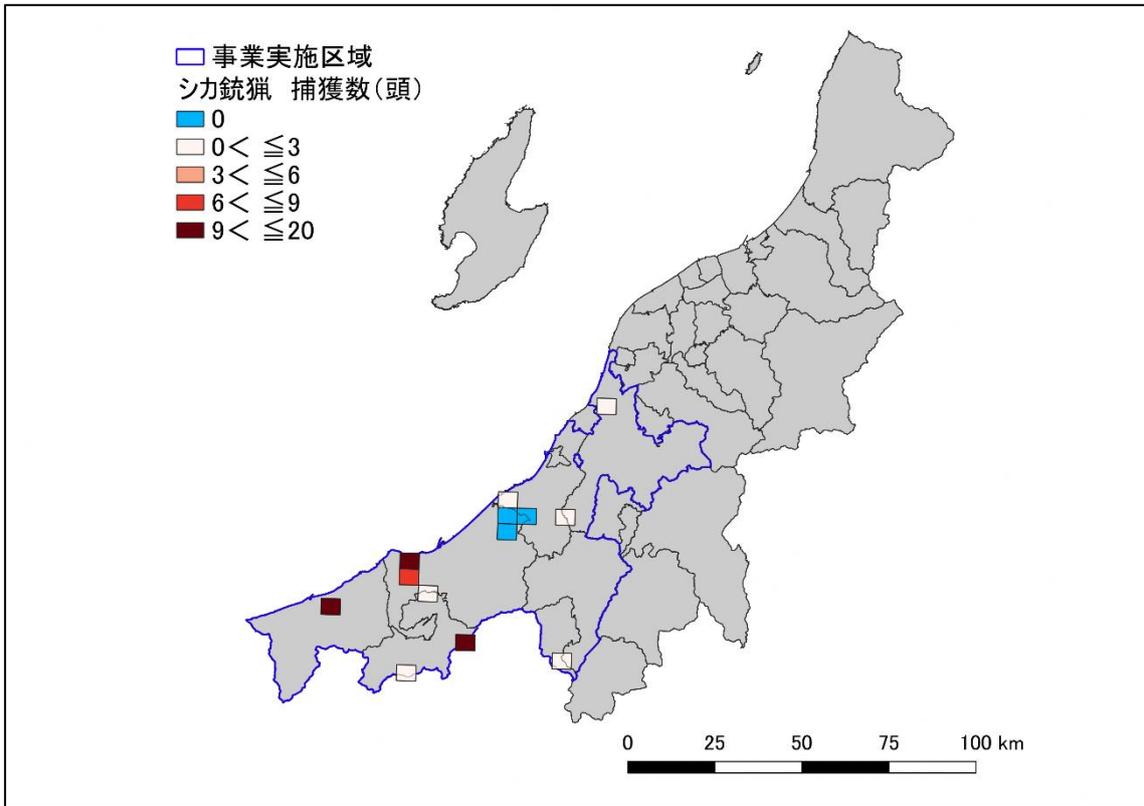
(捕獲等事業：34 個体、連携事業：5 個体)

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

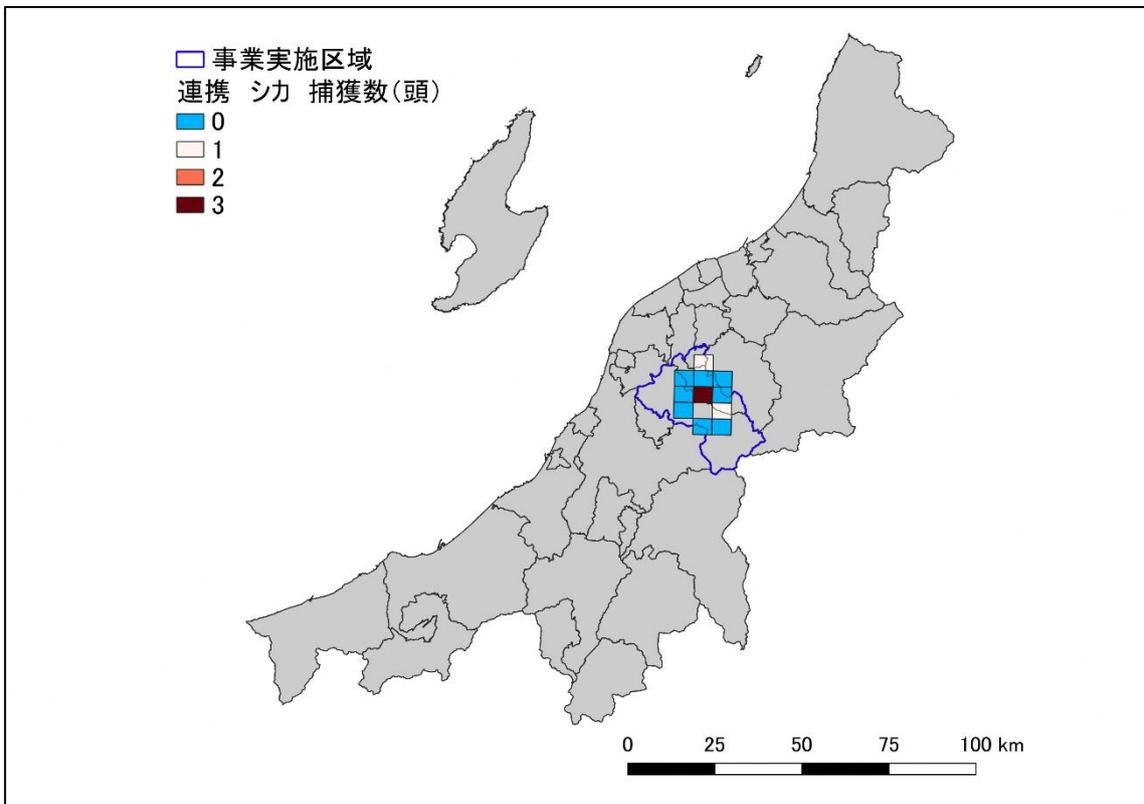
作業員および捕獲個体が写った遠景の写真と個体の大きさ等が確認できる近景の写真、捕獲日時、場所、性別、年齢区分、体重、体長、後足長、角の状態、妊娠の有無等を記入した捕獲調査票、作業日報を提出させることで確認した。

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

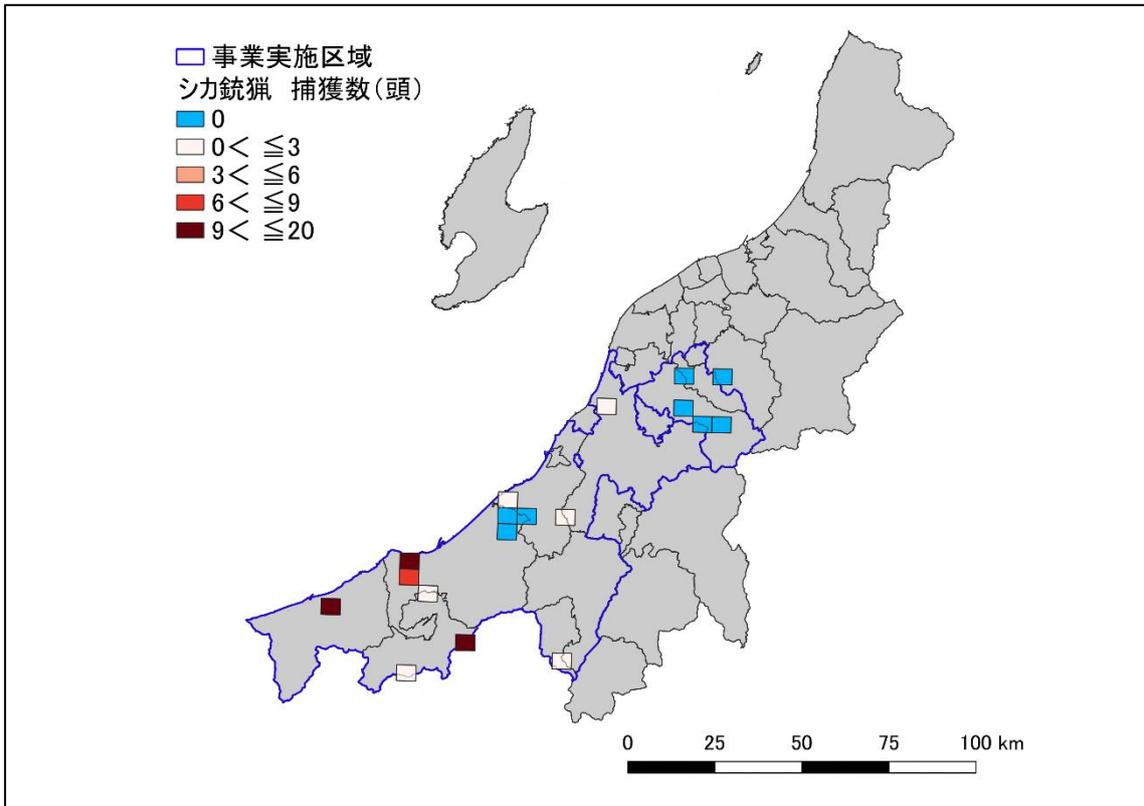
誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。



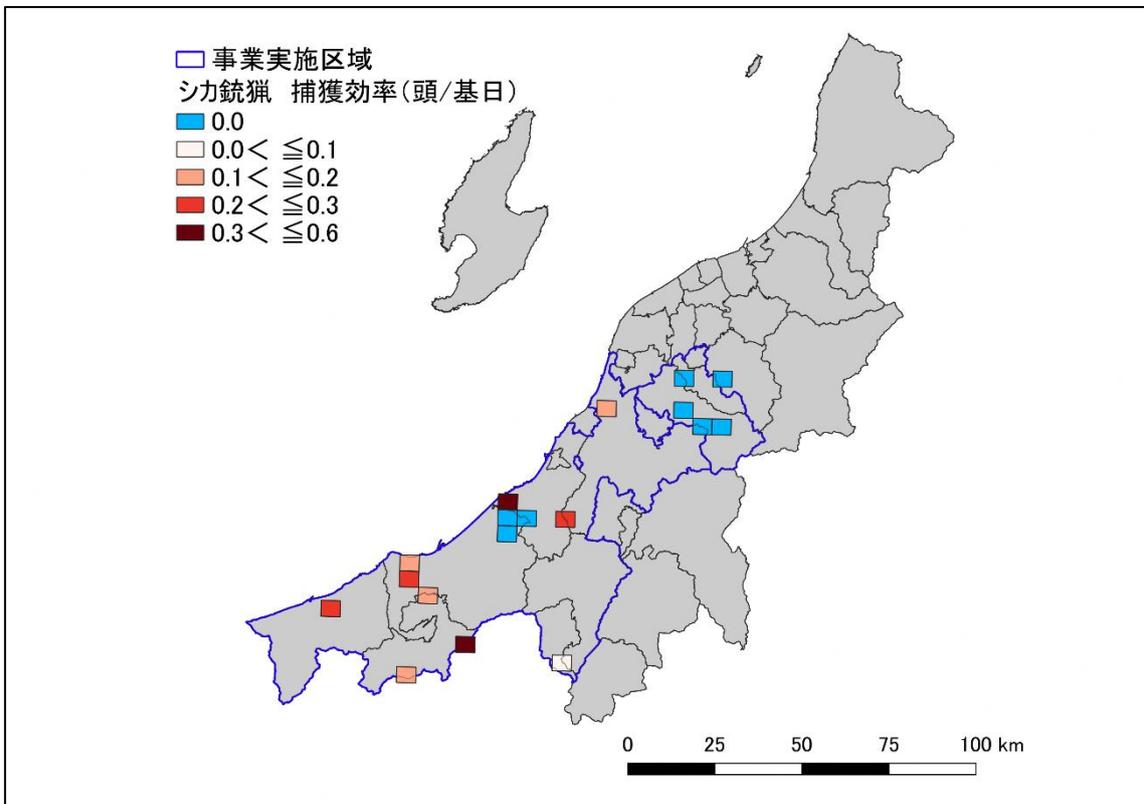
ニホンジカ捕獲事業銃猟捕獲数



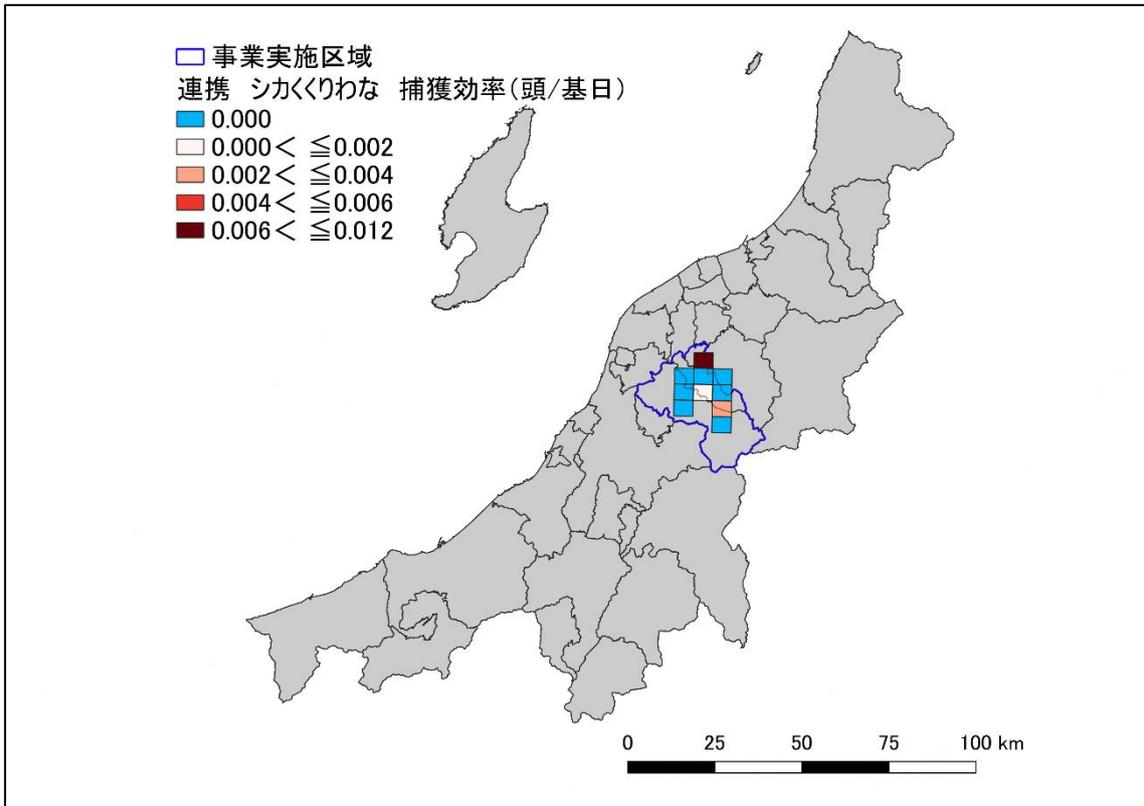
市町村連携事業捕獲数



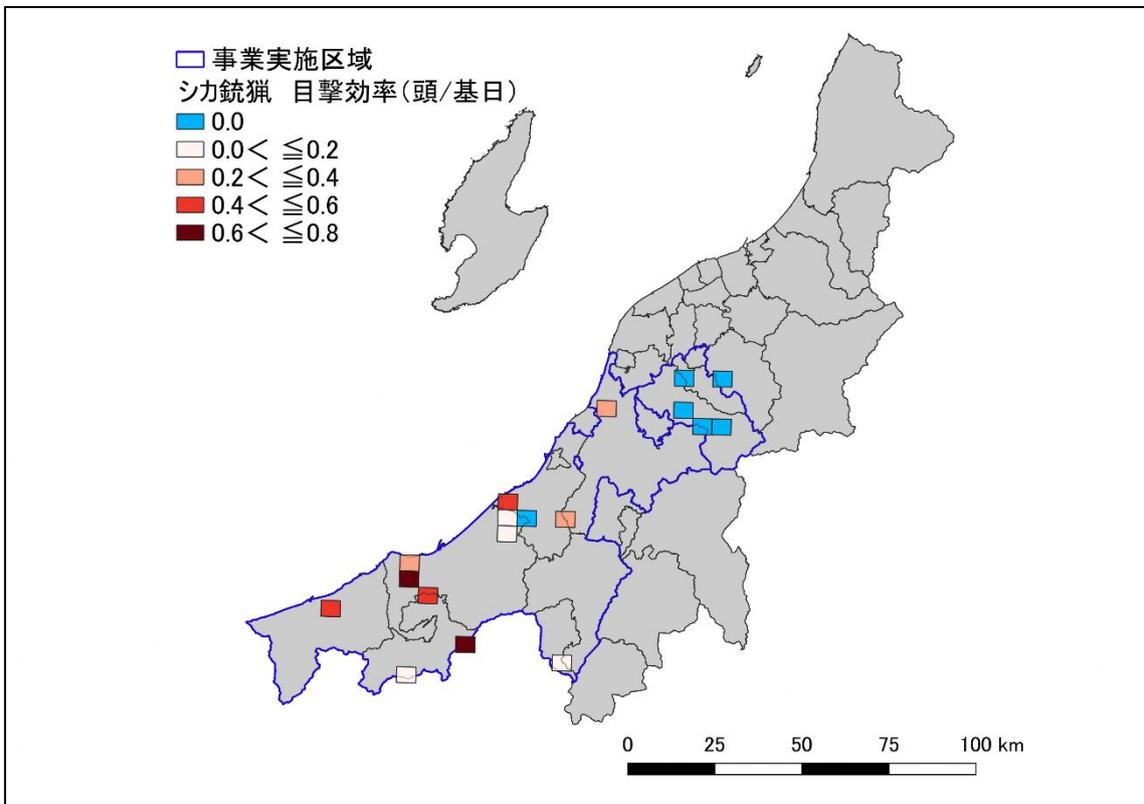
メッシュ別 銃猟におけるニホンジカ捕獲数 (全事業合計)



メッシュ別 銃猟におけるニホンジカ捕獲効率 (全事業合計)



メッシュ別 くりわな猟におけるニホンジカ捕獲効率 (全事業合計)



メッシュ別 銃猟におけるニホンジカ目撃効率 (全事業合計)

